

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2022年度 パフォーマンス向上会議情報(2022年10月18日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年10月18日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【視察用多核種除去設備処理水サンプルボトルの亀裂からの滴下について】 当社社員が入退域管理棟北側屋外において、視察者への説明に用いている多核種除去設備処理水サンプルボトルを持った際、ボトルに亀裂が入り内包水が数滴程度滴下し、地面や当社社員の服に付着したことを確認。 亀裂の原因については、現在確認中。 現在、サンプルボトルを用いた説明は中止している。 なお、滴下した水の放射線量はバックグラウンド値と同等であることを確認し、拭き取りを実施済み。 また、当社社員においてもサーベイ結果はバックグラウンド値と同等であることを確認済み。 今後、再発防止対策を検討。</p>	G II	10月12日